

多くの人に、文化を大切に
する心を伝えたい

アフガニスタンにあった
ユネスコ世界遺産「バーミヤ
ン渓谷の文化的景観と古代
遺跡群」の大仏が、2001
年にイスラム主義組織・タリ
バンによって爆破される直
前の姿を撮影した菅沼さん。
県内外で写真展や講演会を
開き、自身の体験から文化を
守る大切さを伝えながら、ア
フガニスタンへの支援を今
も続けています。

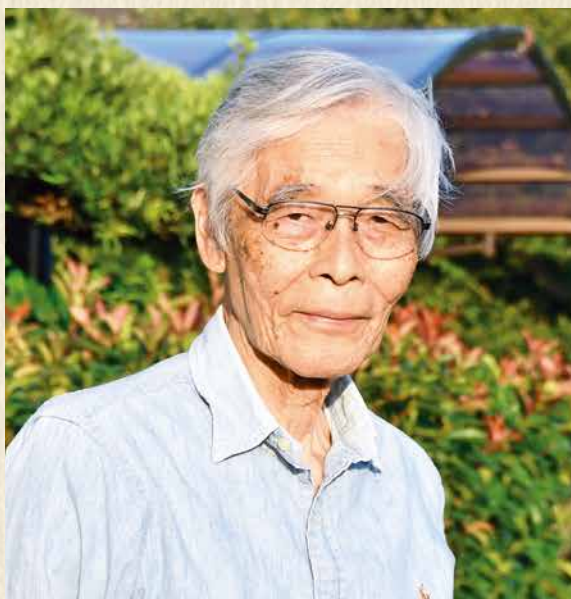
【キーパーソンは突然に】

菅沼さんは、ある人物との
出会いがきっかけとなり、戦
禍のアフガニスタンへの渡
航が実現したそうです。

「20年以上前、なじみの飲
食店で、アフガニスタン出身
のレシャード・カレツド氏と、
偶然出会いました。何度も顔
を合わせるうちに、かねてか
らバーミヤン大仏を見てみた
いという私の熱意が伝
わったのか、彼の弟シェ
ルシャー氏の帰郷に同
行させてもらえるこ
とになったのです」

【当時の情勢を物語る】

「現地は、タリバンが政権を
掌握しており『人為的秘境』と
いわれるほど、入国が極めて
困難でした。それでも入国で
きたのは、両氏の父であり、現
地で大学教授を務めていた、



バーミヤン大仏の最後の姿を撮影した
菅沼隆二さん(向島町)

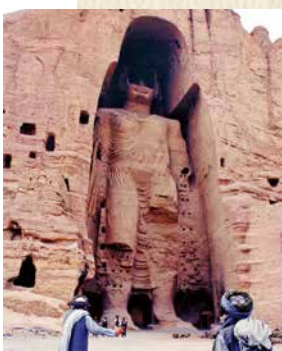
故・アブドルシャクル氏のお
かげでした。タリバン政権の
中にも、かつての教え子がい
たことから、特別な計らいが
あったようです。2000年
8月にシェルシャー氏と入国
を果たし、バーミヤン州の裁

西大仏は、損壊や弾痕が目立
ち、痛ましい姿でした。とて
も残念な気持ちになりました。
千年以上、彼の地を見守
り続け、堂々と立っていた大
仏はその後爆破され、もう見
ることができません」

【歴史文化を後世に残す】

菅沼さんは、これまでの経
験を織り交ぜながら、平和の
尊さと文化を守りゆく大切さ
を伝えていきます。

「2002年3月に、この体
験をまとめた写真集『バーミ
ヤン大仏最後の雄姿』を出版
し、多くの人に見てもらいた
いと、アフガニスタンへの支
援活動をしている人や団体の
ほか、県内各図書館・学校に寄
贈しました。また、これまで
全国50カ所以上で写真展と講
演会を開催し、当時のアフガ
ニスタンの人々の声とともに、
自らの経験を語ってきました。
先人たちが継承してき
た文化を守り、後世につなぐ
大切さを知ってもらえたら、
うれしいですね。現在は、現
地の医療・教育支援を行う認
定NPO法人『カレーズの会』
に所属し、寄付活動が続けて
います。一人でも多くの人に、
平和と文化を重んじる心を伝
えるために、今後も活動を続
けていきたいです」
世界の平和を願い、支援を
続ける菅沼さんは、これから
も文化の尊さを広く伝えてい
きます。



これまでの紛争などに
よる損壊や弾痕が目立
つ、バーミヤン渓谷の
西大仏(菅沼さん撮影)

Shimadajin File #117

島田
Story 人田

